

事務事業評価シート

(H.30)No.	1469	(H.29)No.	1469
-----------	------	-----------	------

事務事業名	新雇用創出事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	商工経済室	福田 浩士	

会計区分	事業コード	362401
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 商工費	新雇用創出事業	
項 商工費	(小事業名)	
目 商工業振興費	新雇用創出事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	活力に満ちて暮らせるまち
	基本施策	2	いきいきと働けるまちづくり
	施策	1	雇用創出
重点プロジェクト	1. 元気創造プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
次世代を担う若者にとって魅力ある職場づくり、子育て女性が働ける職場づくりに取り組み雇用創出を図る。あわせて、農商工連携による食を通じた雇用創出を図る。
事業内容
創業、異業種連携、多角経営化による新たな事業創出を喚起、支援する体制の構築、近畿大学工業高等専門学校との連携による人材育成等に取り組む。 女性の就労相談、セミナー開催、子育てに配慮した職場づくりの支援、女性が働きやすい環境づくりの取組を行う。 農産品の直売所の運営を起点に加工業者、レストラン等との農商工連携を推進する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)	H.30年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	<p>●名張市産業チャレンジ支援協議会の事業展開</p> <p>雇用創出件数 64人 とれたて名張交流館売上金額 99,687千円 プロジェクト協力事業所数 100事業所</p>	<p>●名張市産業チャレンジ支援協議会の事業展開</p> <p>雇用創出件数 50人 とれたて名張交流館売上金額 122,000千円 プロジェクト協力事業所数 25事業所</p>

H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		30,726千円		40,596千円			
内訳(千円)	国・県支出金		15,362	20,298			
	地方債						
	その他()						
一般財源	0	15,364	0	20,298	0	0	0
人工数	職員		0.20人	0.20人			
	臨時職員等						
②概算人件費	0千円	1,480千円	0千円	1,480千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	0千円	32,206千円	0千円	42,076千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
名張市産業チャレンジ支援協議会が本格稼働し、企業支援や人材育成、農商工支援、雇用機会の確保等地域内での積極的な雇用創出、産業活動を支援し、H.29年度は雇用数64人(内訳子育て世代の就職支援30名、就職セミナー12名、新規創業者9名、高齢者の雇用13名)となり目標を達成した。しかしながら、悪天候による野菜不足、野菜の高騰もあり、野菜等の直売所の売り上げが落ち込んだためH.30年度については目標を達成できるように支援を行っていききたい。また、H.29年度に目標を達成している部分においても引き続き支援を行っていききたい。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
---	------------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
地方創生推進交付金を活用し、創業、異業種連携、農商工連携など新たなチャレンジを促す事業環境の整備を図るとともに、民産学官で連携する中、新たな雇用を生み出す取組を進める。加えて、子育て世代の女性の就労支援や環境整備、幼少期からのふるさと学習の実施により、若い世代の定着及び転出抑制を図る。過年度実施の調査・研究事業を生かし、今後は新規事業創出の喚起や農商工連携の推進を進める。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
名張市 まち・ひと・しごと創生総合戦略